



家庭教育ワンポイントアドバイス

入学までにできること

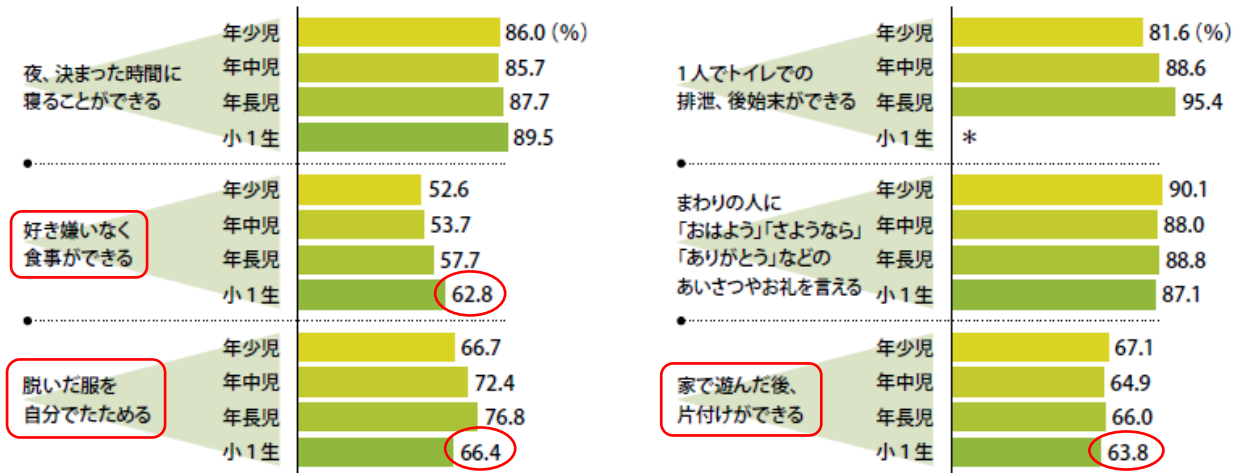
小学校入学は、子育てにおける1つの節目とも言えるでしょう。9年間の義務教育が始まり、幼稚園・保育所での生活とは違った環境に、最初は戸惑いがあるかもしれません。登下校、授業、給食、友達関係、・・・など。

そこで、小学校生活がスムーズにスタートできるように、入学までに家庭でできることについて紹介します。ほんの一例ですが、各家庭の実情に応じて参考にしてください。



年少児～小学1年生の生活習慣調査結果

図 1-1 とてもあてはまる+まああてはまる



【調査結果より】

(ベネッセ教育総合研究所「幼児期から小学1年生の家庭教育調査」2016年3月)

「とてもあてはまる+まああてはまる」と回答した割合が高い項目がある一方、食事や片付けなど他の項目に比べ若干低い生活習慣もあり、小学校入学後もお家の方の支援が必要であることがうかがえます。

入学前に身につけておきたいこと

○自分でできることは自分でする

衣服の着脱や整理整頓などを自分でできるように、慣れるまでは声をかけてあげましょう。

○健康な生活リズムを身に付け、楽しんで食事ができる

早寝早起き、歯みがき、朝ごはんを食べるなどの生活習慣を身に付けましょう。

○大きな声で、あいさつや返事ができる

「あいさつは、心と心のパスポート！」家庭でもお家の方が率先してあいさつするようにしましょう。

○自分の気持ちや意見を相手に伝えることができる

人の話を注意して聞き、相手に分かるように伝えられるようにしましょう。

(参考：「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」一部抜粋)



就学に向けての保護者のかかわりと配慮



「こうしないと学校に入れない」とか、入学するために否定的な条件を作ってしまうような配慮が必要です。どんな小さなことでも「学校に入ったら、こんなことを勉強するから楽しそうだね」といった、期待を込めた励ましをしたいものです。入学に不安をもっている子供には、気持ちを受け止め、楽しい面なども具体的に伝えながら、期待感につなげるように援助しましょう。

(参考：田中真介著「発達がわかれば子どもがみえる」ぎょうせい)